

つくばみらい市教育振興基本計画に係る  
「平成29年度版事業計画（事業・目標指標）」（案）

第1節 “みらい” に生きる確かな学力の定着	3 頁
第2節 “みらい” を創る豊かな心と健やかな体の育成	18 頁
第3節 “みらい” を築く誰もが安心して学べる教育環境の充実	28 頁
第4節 “みらい” に続く生涯学習・生涯スポーツの充実	37 頁

平成29年 月



## 基本目標

### 第1節 “みらい” に生きる確かな学力の定着

## 重点施策

#### ○幼時期からの一貫した教育推進プロジェクト！

- ・幼児教育・保育の充実と小学校教育との連携及び接続の強化 関連項目 (1節-1-②)
- ・小中一貫教育の推進 関連項目 (1節-2-①)

#### ○勉強が大好きになるプロジェクト！

- ・情報活用能力を育てる教育の充実 関連項目 (1節-3-③)
- ・教員の資質能力の向上と家庭学習の支援・充実 関連項目 (1節-5-①)

基本方針	具体的施策	事業	
1. 幼児教育の充実	①質の高い幼児教育の提供	1 つくばみらい市私立幼稚園就園奨励費補助事業	
		2 子ども・子育て支援新制度（地域子育て支援拠点事業）（再掲）	
		3 子ども・子育て支援新制度（ファミリーサポートセンター事業）	
		4（仮称）赤ちゃんタイム事業	
	【重点施策】	1 アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム事業	
2. 長期的な視点にたった教育の推進	②幼児教育・保育の充実と小学校教育との連携及び接続の強化	2 幼児期教育接続推進事業（小学校教育との連携及び接続の強化）	
		1 学力向上・授業改善事業	
		2 生徒指導・生活向上事業	
		3 児童生徒文化交流事業	
3. 確かな学力の醸成	①基礎的・基本的学習内容の着実な定着	4 小中一貫教育合同研修会事業	
		1 学びの広場サポートプラン事業	
		2 教育指導室による要請訪問事業（再掲）	
		3 ティームティーチング非常勤講師の配置事業（再掲）	
	②児童生徒一人ひとりの学力・個人差に合わせた教育の推進	③情報活用能力を育てる教育の充実	4 少人数教育充実プラン推進事業（再掲）
			1 ティームティーチング非常勤講師の配置事業（再掲）
			2 小中一貫教育における非常勤講師の配置事業
	【重点施策】	③情報活用能力を育てる教育の充実	3 少人数教育充実プラン推進事業（再掲）
			1 ICT環境整備事業
			2 教育指導室による学校訪問指導事業
			3 ICTを活用した授業についての夏季研修会
			4 「スマートフォン・携帯電話・ゲーム機の使い方について」を全家庭に配布（再掲）
			5 情報モラル研修会（児童生徒対象）

基本方針	具体的施策	事業	
4. 時代に対応した教育の推進	①多様なコミュニケーション機会の創出	1 青少年育成つくばみらい市民会議ふれあい交流事業（再掲）	
		2 小学校ごとに学ぶ英語推進事業（再掲）	
		3 青少年健全育成つくばみらい市民会議との連携による体験活動事業（たこあげ大会）（再掲）	
	②キャリア教育、職業教育の充実	1 小学校での職場見学・職場体験事業	
		2 中学校社会体験事業（実施及び受け入れ）	
		3 起業家講演会	
	③国際化に対応した国際理解教育の充実	1 A L T の加配事業	
		2 英語・外国語活動の夏季研修会	
		3 小学校教員英語力向上研修事業	
		4 英語教員リーダー育成研修事業	
		5 小学校ごとに学ぶ英語推進事業（再掲）	
	5. 学力向上策としての質の高い学習の実現	【重点施策】 ①教員の資質能力の向上と家庭学習の支援・充実	1 学力向上研修会
			2 つくばみらい市小中一貫教育事業
			3 家庭学習支援事業（再掲）
			4 若手教員研修会（再掲）
5 各種夏季研修会（再掲）			
6 教育指導室による要請訪問事業（再掲）			
②すべての子どもたちへの学習機会の確保		1 つくばみらい市奨学金制度事業	
		2 家庭学習支援事業（再掲）	
		3 少人数教育充実プラン推進事業（再掲）	
③理数教育の充実		1 未来の科学者育成プロジェクト事業	
6. 共に暮らし支え合う共生社会の形成		①共に学ぶ仕組みづくり	1 発達支援事業と教育指導室の連携事業
			2 教育支援事業（教育支援委員会）
	3 特別支援教育説明会		
	②特別支援教育の充実	1 障がい児通所支援給付「児童発達支援事業」（県指定の事業所への通所による訓練）	
		2 障がい児通所支援「放課後等デイサービス」（県指定の事業所への通所による訓練）	
		3 特別支援教育地域連携協議会	
		4 特別支援教育専門家派遣事業	
		5 特別支援教育支援員の配置事業	
		6 特別支援教育支援員レベルアップ研修事業	

## 1. 幼児教育の充実

### ① 質の高い幼児教育の提供

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	つくばみらい市私立幼稚園就園奨励費補助事業	子育て世代の経済的負担の軽減を目的として、私立幼稚園に通園する子を持つ保護者に対して、市民税所得割額および兄弟数に応じた補助金を支給する。学校教育課		
	私立幼稚園就園奨励費補助事業の市民周知回数	私立幼稚園就園奨励費補助事業を説明する広報記事掲載回数、市ホームページの事業頁更新回数、施設への通知配布回数の増加を目指す	2回	3回
2	子ども・子育て支援新制度（地域子育て支援拠点事業）（再掲）	乳幼児やその保護者が相互の交流を行い、ふれあい遊びや友達になつたりする場を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言などを行う。こども福祉課・学校教育課		
	地域子育て支援拠点事業実施施設数	地域子育て支援拠点事業を実施している施設数の増加を目指す	6か所	8か所
3	子ども・子育て支援新制度（ファミリーサポートセンター事業）	「育児の援助を受けたい人」と「育児の援助を行いたい人」を会員として、妊産婦または12歳までの子どもを有する保護者を対象に、児童の預かりや送迎の相互援助活動に関する連絡、調整を行う。こども福祉課		
	ファミリーサポートセンター事業の利用・協力会員数	ファミリーサポートセンター事業の利用会員数と協力会員数の増加を目指す	利用会員 40人 協力会員 19人	利用会員 124人 協力会員 48人
4	（仮称）赤ちゃんタイム事業	子育て中の保護者がお子さんと一緒に気兼ねなく図書館を利用できるよう、図書館本館にて「（仮称）赤ちゃんタイム」を設け、子育て中の保護者利用促進を図る。  一般の利用者には、お子さんが泣いたり、声を出したりしても、暖かく見守って頂くよう協力を求め、また、赤ちゃんタイムに合わせて、保育士等による絵本の読み聞かせ等を実施する。  生涯学習課（図書館）		
	赤ちゃんタイム事業	赤ちゃんタイム事業の継続を目指す	—	100%

② 幼児教育・保育の充実と小学校教育との連携及び接続の強化【重点施策】

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム事業	幼児期教育と小学校教育の接続を見通して教育課程を編成・実施し、幼児期教育と小学校教育の円滑な接続推進を図る。 学校教育課（教育指導室）		
	アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムを導入後、再検討している割合	幼小連携としてのアプローチカリキュラム・スタートカリキュラムを相互の実施結果を踏まえ再検討、実施している幼稚園、小学校の割合の増加を目指す	幼稚園 0% 小学校 0%	幼稚園 100% 小学校 100%
2	幼児期教育接続推進事業（小学校教育との連携及び接続の強化）	就学前教育の質の向上を図るとともに、幼児期で培われた育ちや学びの、小学校生活や学習への円滑な連携・接続を図る。 学校教育課（教育指導室）		
	幼児期教育接続推進に関する研修会への参加者の割合	全公立幼保小と私立幼保小の参加の割合の増加を目指す	公立 100% 私立 69.0%	公立 100% 私立 80.0%

## 2. 長期的な視点にたった教育の推進

### ① 小中一貫教育の推進 【重点施策】

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	将来値 (H33)
1	学力向上・授業改善事業	各中学校区による相互授業参観や乗り入れ授業,「学習のきまり」「家庭学習の手引き」「9年間を見通した学習系統表」の実践状況を検証する中で,児童生徒の学力向上や教員の授業力向上を図る。 学校教育課(教育指導室)		
	9年間を見通した学習系統表の実施率	学習系統表の実施状況の増加を目指す	50.0%	90.0%
2	生徒指導・生活向上事業	各中学校区による生徒指導部会や養護教諭部会等の情報交換会を定期的実施する。また,「9年間を見通した生活のきまり」の見直しや「学校生活アンケート」の結果検証を通して,児童生徒の自尊感情の高揚や学校生活の充実を図ったり,中学校に入学した生徒が悩みや不安を抱えることなく,充実した学校生活を送ることを目指した教育環境の整備を目指す。 学校教育課(教育指導室)		
	9年間を見通した生活のきまりの遵守率	生活のきまりの実施状況の増加を目指す	75.0%	90.0%
3	児童生徒文化交流事業	各中学校区による合同引き渡し訓練等や合同のあいさつ運動を実施する。また,中学生による母校ボランティア活動や吹奏楽部演奏等の交流会,「学びの広場」のサポーターの母校個別指導を行い,児童相互理解を深める。 学校教育課(教育指導室)		
	各種交流活動における活動回数	各種交流活動の合計活動回数の増加を目指す	25回	50回
4	小中一貫教育合同研修会事業	各中学校区による合同研修会や各種夏季研修会,若手教員研修会を実施する。学びの連続性の中で心豊かに個性を発揮する児童生徒を育成し,学力向上や生活規律の確立,教職員の資質向上を図る。 学校教育課(教育指導室)		
	各中学校区ごとの全体研修会実施回数	各中学校区ごとの全体研修会の年間平均実施回数の増加を目指す	1.7回	4回

### 3. 確かな学力の醸成

#### ① 基礎的・基本的学習内容の着実な定着

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	学びの広場サポートプラン事業	県作成の学習教材を用いて学習する場を設定し、一人ひとりに応じたきめ細かな指導ができるよう支援をすることにより、基礎学力の確かな定着を図る。 学校教育課（教育指導室）		
	「レディネステスト」及び「評価テスト」の結果	各学校で夏季休業5日間（毎日2時間）の実施前後の「レディネステスト」及び「評価テスト」の結果において8割以上達成している児童が学校全体で7割以上の学校数の増加を目指す	11校 (小学校)	全小学校
2	教育指導室による要請訪問事業（再掲）	各学校の研究テーマの要請に応じて訪問し、学校課題追究の過程における問題点の解明、学習指導、児童生徒指導等の課題解明等を支援する。 学校教育課（教育指導室）		
	要請訪問による授業公開した学校数	要請訪問を受けて授業改善をねらいとした授業公開した学校数の増加を目指す	6校 (小中学校) (H28)	12校 (小中学校)
3	ティームティーチング非常勤講師の配置事業（再掲）	ティームティーチングによる教科指導や授業担当者教員の出張等による代替授業、校長の指示した事務等を行い、授業改善や学力定着のための指導力を向上させる。 学校教育課（教育指導室）		
	非常勤講師の授業改善等のアンケート調査による割合	非常勤講師の授業力向上に対する取組状況が児童生徒にとって効果的である割合の増加を目指す	85.0%	95.0%
4	少人数教育充実プラン推進事業（再掲）	少人数学級やTTにより、個に応じたきめ細かな指導を充実させるために、担任教諭や非常勤講師を配置する。 学校教育課（教育指導室）		
	意欲的に学習に取り組む児童生徒の割合	少人数指導やTTによる個別指導の充実により、児童生徒が、自ら進んで意欲的に学習に取り組むことができる割合の増加を目指す	73.3% (H27)	80.0%



② 児童生徒一人ひとりの学力・個人差に合わせた教育の推進

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	チームティーチング 非常勤講師の配置事業 (再掲)	チームティーチングによる教科指導や授業担当者教員の出張等による代替授業, 校長の指示した事務等を行い, 授業改善や学力定着のための指導力を向上させる。 学校教育課 (教育指導室)		
	非常勤講師の授業改善等のアンケート調査による割合	非常勤講師の授業力向上に対する取組状況が児童生徒にとって効果的である割合の増加を目指す	85.0%	95.0%
2	小中一貫教育における 非常勤講師の配置事業	小中一貫教育に向けての調査・研究・企画や学習改善支援等を行い, 学びの連続性を生かした学習への取組を推進する。 学校教育課 (教育指導室)		
	非常勤講師の授業改善等のアンケート調査による割合	非常勤講師の授業力向上に対する取組状況が児童生徒にとって効果的である割合の増加を目指す	85.0%	95%
3	少人数教育充実プラン 推進事業 (再掲)	少人数学級や TT により, 個に応じたきめ細かな指導を充実させるために, 担任教諭や非常勤講師を配置する。 学校教育課 (教育指導室)		
	意欲的に学習に取り組む児童生徒の割合	少人数指導や TT による個別指導の充実により, 児童生徒が, 自ら進んで意欲的に学習に取り組むことができる割合の増加を目指す	73.3% (H27)	80.0%

### ③ 情報活用能力を育てる教育の充実 【重点施策】

No	事業	事業概要		
		指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	ICT環境整備事業	学校において、インターネットや情報機器を積極的に活用した授業を展開できるよう、タブレットPCを整備する。 学校教育課		
	タブレットPC整備済み学校数	未整備となっている小学校にタブレットPCを整備することを目指す	5校 (小中学校) (H28年)	全小中学校
2	教育指導室による学校訪問指導事業	ICT機器を活用して、教材や成果物の拡大提示やデジタル教科書の活用等を通し、教育効果を高め、「できた」「分かった」「楽しい」授業の展開を促進する。 学校教育課（教育指導室）		
	学校訪問指導による授業公開学級数	ICT機器を活用した授業の公開数学級数の増加を目指す	82学級 (H28年)	90学級
3	ICTを活用した授業についての夏季研修会	児童用タブレットPCの導入に伴い、導入された機器の機能や活用方法について周知し、活用率を向上させる。 学校教育課（教育指導室）		
	夏季研修会の参加者数	ICTを活用した授業についての夏季研修会に各学校から複数名の参加の義務づけを目指す	14名 (H28年)	15名
4	スマートフォン・携帯電話・ゲーム機の使い方についてを全家庭に配布（再掲）	「家庭向け資料」を印刷・配付し、家庭における問題意識の高揚を図る。また、「話し合いシート」を活用し、生徒と保護者が、使用の目的や条件、マナー等について「家庭での話し合い」を行う。 学校教育課（教育指導室）		
	スマートフォン等などの使い方の約束ごとの話し合いシートの活用状況の割合	「スマートフォン・携帯電話・ゲーム機の使い方について」の話し合いシートの活用率の向上を目指す	65.0%	90.0%
5	情報モラル研修会（児童生徒対象）	インターネット環境を子どもに提供している保護者向けの研修会は未実施（児童生徒への実施率は100%）である。インターネットを利用する上でのルールがない家庭が44%と半数近くあるので、保護者向けの情報モラル研修の実施を促進する。 学校教育課（教育指導室）		
	家庭でのインターネット利用上のルールの設定率	インターネットを利用する上での利用ルールを設定する家庭の割合の向上を目指す	56.0% (H28)	80.0%

#### 4. 時代に対応した教育の推進

##### ① 多様なコミュニケーション機会の創出

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	青少年育成つくばみらい市民会議ふれあい交流事業（再掲）	体験学習や県内外の社会科見学を通して、市内の児童が行動を共にすることにより、連帯感、協調性を養うとともに相互の交流を図る。 生涯学習課		
	ふれあい交流事業参加者数	ふれあい交流事業参加者数の増加を目指す	30人	40人
2	小学校ごとに学ぶ英語推進事業（再掲）	小学校という早期段階において、英語の音や日常生活に必要な基礎的会話表現に慣れ親しませることにより、グローバル化に対応した人材の育成を図る。 学校教育課（教育指導室）		
	英語CDの活用率	外国語活動以外の学校の教育活動場面（朝の会や給食の時間等）で英語CDの活用の割合の増加を目指す	32.0% (H28)	50.0%
3	青少年健全育成つくばみらい市民会議との連携による体験活動事業（たこあげ大会）（再掲）	冬の風物詩であり、伝統的な遊びである凧揚げを伝承し、凧作りやたこあげ大会をとおして家族、友人の絆を深める。 生涯学習課		
	たこあげ大会参加人数	たこあげ大会参加者の増加を目指す	30人	40人

② キャリア教育，職業教育の充実

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	小学校での職場見学・職場体験事業	他人との関わりや思いやり，社会のルール等を学ぶ中で，社会の一員としての自覚を養う。 学校教育課（教育指導室）		
	小学校での職場見学・体験の実施割合	小学校における職場体験（職場見学全校で実施済み）を実施している学校数の増加を目指す	4校	6校
2	中学校社会体験事業（実施及び受け入れ）	社会の一員としての自覚を深め，自らの意思と責任で，進路を主体的に選択する能力や態度を育成する。 学校教育課（教育指導室）		
	中学校での職場体験実施割合	職場体験学習を3日以上行った生徒の割合の増加を目指す	70.0%	90.0%
3	起業家講演会	地元企業の創業者や起業家等，働く人の話を聞く機会を設け，キャリア教育の充実を図る。 学校教育課（教育指導室）		
	キャリア教育に関する講演会等の実施率	キャリア教育の一環として，中学校における起業家講演会や働く人の話を聞く会を実施の継続を目指す	全中学校 (H28年)	全中学校

### ③ 国際化に対応した国際理解教育の充実

No	事業	事業概要			
		目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	ALTの加配事業		日常的に外国語に慣れ親しませることにより、グローバル化に対応した人材の育成を図る。 学校教育課（教育指導室）		
	ALTの配置		ALTの常駐配置されている小学校数の増加を目指す	4校 (小学校) (H28)	6校 (小学校)
2	英語・外国語活動の夏季研修会		グローバル化に対応した人材の育成を目指して、小中の連携を見通した指導力の向上及び英語力の向上を図る。 学校教育課（教育指導室）		
	英語・外国語活動の夏季研修会への参加率		小学校から2名、中学校から全英語担当者の研修会への参加割合の増加を目指す	67.0% (H28)	100%
3	小学校教員英語力向上研修事業		グローバル化に対応した人材の育成を目指して、小学校教員の英語力及び指導力の向上を図る。 学校教育課（教育指導室）		
	小学校教員英語力向上研修の受講率		小学校教員の英語力向上研修受講対象者のうち、受講終了者の割合の増加を目指す	40.0% (H28)	100%
4	英語教員リーダー育成研修事業		小学校における外国語活動教育の中核となる教員の育成を図る。 学校教育課（教育指導室）		
	英語教員リーダー育成研修の参加者数※		英語教育の強化に貢献できる地域の中核教員（研修を修了した教員）の増加を目指す	—	—
5	小学校ごとに学ぶ英語推進事業（再掲）		小学校という早期段階において、英語の音や日常生活に必要な基礎的会話表現に慣れ親しませることにより、グローバル化に対応した人材の育成を図る。 学校教育課（教育指導室）		
	英語CDの活用率		外国語活動以外の学校の教育活動場面（朝の会や給食の時間等）で英語CDの活用の割合の増加を目指す	32.0% (H28)	50.0%

※英語教育の強化に貢献できる地域の中核教員の増加を目指した県の事業であり、引き続き教員の派遣を行っていく。

## 5. 学力向上策としての質の高い学習の実現

### ① 教員の資質能力の総合的な向上と家庭学習の支援・充実 【重点施策】

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	学力向上研修会	<p>児童生徒の学力の定着状況を把握，分析するとともに，指導方法の改善を図ることにより，児童生徒一人ひとりの学力の向上に資することを目的とする。</p> <p>学校教育課（教育指導室）</p>		
	研修内容を授業へ活用した割合	研修会に参加した教員が校内研修等で伝達し，その後の授業に活用した割合の増加を目指す	90.0%	95.0%
2	つくばみらい市小中一貫教育事業	<p>9年間を見通した弾力的な教育課程の編成や各中学校区の特長や実態を生かした分離・連携型の教育の充実を目指す。</p> <p>学校教育課（教育指導室）</p>		
	小中一貫教育に関する研修や授業，事業の実施率	①学習面②生活面③小中連携した行事等の3点において計画した内容を実施	—	95.0%
3	家庭学習支援事業（再掲）	<p>小中共通の「家庭学習の手引き」や「リーフレット」を児童生徒と保護者に配付して，学習意欲の啓発を図る。</p> <p>学校教育課（教育指導室）</p>		
	「家庭学習の手引き」を活用している児童生徒の割合	「家庭学習の手引き」の活用をもとに，家庭学習に取り組んだ時間（1時間以上）の児童生徒の割合の増加を目指す	80.0%	90.0%
4	若手教員研修会（再掲）	<p>市内の教科等専門教員をはじめベテラン教員等からの指導技術等及び他校教諭との情報交換により，若手教員の指導力と勤労意欲の向上を図る研修会を実施する。</p> <p>学校教育課（教育指導室）</p>		
	若手教員研修会で身に付けた技術の実践率	研修会で身に付けたことを実践に結びつけた割合（研修会でのアンケート結果）の増加を目指す	50.0%	80.0%
5	各種夏季研修会（再掲）	<p>教育者としての使命感，人間の成長・発達についての深い理解，幼児・児童・生徒に対する教育的愛情，教科等に関する専門的知識，広く豊かな教養等，教員に求められる資質・能力の向上を図る研修会を実施する。</p> <p>学校教育課（教育指導室）</p>		
	各種夏季研修会への参加人数	各研修各校1名悉皆研修，人権講演会は教員数の半数参加を目指す	—	職員半数
6	教育指導室による要請訪問事業（再掲）	<p>各学校の研究テーマの要請に応じて訪問し，学校課題追究の過程における問題点の解明，学習指導，児童生徒指導等の課題解明等を支援する。</p> <p>学校教育課（教育指導室）</p>		
	要請訪問による授業公開した学校数	要請訪問を受けて授業改善をねらいとした授業公開した学校数の増加を目指す	6校 (小中学校) (H28)	12校 (小中学校)

## ② すべての子どもたちへの学習機会の確保

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	つくばみらい市奨学金制度事業	能力があるにもかかわらず、経済的理由により進学ができない者に対して学費を貸与し、広く人材を育成する。 学校教育課		
	配布対象者の拡大	市内に居住している中学3年生及び高等学校3年生の生徒に対して奨学生募集の周知を行うことを目指す	—	100%
	奨学生募集の周知	奨学生募集の記事を市広報紙に掲載し、奨学金制度を広く周知することを目指す	年1回	年3回
2	家庭学習支援事業（再掲）	小中共通の「家庭学習の手引き」や「リーフレット」を児童生徒と保護者に配付して、学習意欲の啓発を図る。 学校教育課（教育指導室）		
	「家庭学習の手引き」を活用している児童生徒の割合	「家庭学習の手引き」の活用をもとに、家庭学習に取り組んだ時間（1時間以上）の児童生徒の割合の増加を目指す	80.0%	90.0%
3	少人数教育充実プラン推進事業（再掲）	少人数学級やTTにより、個に応じたきめ細かな指導を充実させるために、担任教諭や非常勤講師を配置する。 学校教育課（教育指導室）		
	意欲的に学習に取り組む児童生徒の割合	少人数指導やTTによる個別指導の充実により、児童生徒が、自ら進んで意欲的に学習に取り組むことができる割合の増加を目指す	73.3% (H27)	80.0%

## ③ 理数教育の充実

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	未来の科学者育成プロジェクト事業	最先端科学技術の現場にふれさせる活動を通して、将来科学者、研究者になろうとする人材の育成を図る。 学校教育課（教育指導室）		
	科学の甲子園ジュニア茨城県大会における優秀者数	科学の甲子園ジュニア茨城県大会における優秀者数の増加を目指す	2名 (H28)	5名

## 6. 共に暮らし，支え合う共生社会の形成

### ① 共に学ぶ仕組みづくり

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	発達支援事業と教育指導室の連携事業	小学校への巡回相談を通して，児童の教育的ニーズに応じた適切な教育的支援を行うための助言をするとともに，支援体制の整備を図る。 学校教育課（教育指導室），健康増進課		
	巡回相談実施校数	全小学校のうち巡回相談を実施した小学校の割合の増加を目指す	3校 (小学校) (H28)	11校 (小学校)
2	教育支援事業（教育支援委員会）	児童生徒等の教育的ニーズに応じた適切な教育的支援を行うための助言をするとともに，支援体制の整備を図る。 学校教育課（教育指導室）		
	特別支援学級設置校数	全小中学校のうち小中学校の特別支援学級の設置校数の増加を目指す	10校 (小中学校) (H28)	12校 (小中学校)
3	特別支援教育説明会	療育教室での就学説明会により，個々のニーズに応じた就学先の決定に向けた情報提供を行う。 学校教育課（教育指導室）		
	特別支援教育説明会の開催数	特別支援教育説明会の年間開催数の増加を目指す	1回／年 (H28)	2回／年



## ② 特別支援教育の充実

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	障がい児通所支援給付「児童発達支援事業」(県指定の事業所への通所による訓練)	就学前の、身体、知的または精神の障がいがある児童もしくは療育を受ける必要がある児童に対し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等を提供する。 社会福祉課		
	児童発達支援事業実利用者数	児童発達支援事業を利用した実人数の増加を目指す	8人	15人
2	障がい児通所支援「放課後等デイサービス」(県指定の事業所への通所による訓練)	就学中の障がいのある児童に対し、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のため訓練等を継続的に行うことにより、学校教育と相まって障がいのある児童の自立を促進すると共に、放課後等の居場所を提供する。 社会福祉課		
	放課後等デイサービス実利用者数	放課後等デイサービスを利用した実人数の増加を目指す	27人	50人
3	特別支援教育地域連携協議会	適切な教育的支援を行うための支援体制の整備に向けた情報交換を行うとともに、障害のある幼児児童生徒に対する理解と認識を深める。 学校教育課(教育指導室)		
	特別支援教育地域連携協議会への参加学校の割合	特別支援教育地域連携協議会へ教育支援委員会調査員のうち参加した調査員の割合の増加を目指す	75.0% (H28)	90.0%
4	特別支援教育専門家派遣事業	幼稚園・小・中学校に特別支援教育専門家や特別支援教育巡回相談員を派遣し、特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒への支援について専門的な助言等を行うことで、特別支援教育の充実を図る。 学校教育課(教育指導室)		
	特別支援教育専門家派遣事業の活用施設数	特別支援教育専門家派遣事業を活用している幼稚園、小・中学校施設の増加を目指す	7施設	10施設
5	特別支援教育支援員の配置事業	学校のニーズに合わせた支援ができるよう、障害の理解を深め具体的な対応ができる支援員を配置する。 学校教育課(教育指導室)		
	特別支援教育支援員を必要とする小・中学校の充足率	支援員の配置人数(実績)と配置希望者数に対する割合の増加を目指す	96.0%	100%
6	特別支援教育支援員レベルアップ研修事業	学校のニーズに合わせた支援ができるよう、「障害の理解」「具体的な対応例」について研修を実施し、支援員の資質向上を図る。 学校教育課(教育指導室)		
	特別支援教育支援員レベルアップ研修の開催	特別支援教育支援員レベルアップ研修の実施回数の増加を目指す	0回	1回

## 基本目標

## 第2節 “みらい” を創る豊かな心と健やかな体の育成

### 重点施策

#### ○いじめ・不登校ゼロプロジェクト！

- ・いじめ・暴力行為等の未然防止及び問題への取組 関連項目 (2節-1-①)
- ・社会を生き抜く力の育成 関連項目 (2節-1-②-1)

#### ○ふるさとつくばみらいプロジェクト！

- ・自然や歴史を学ぶ郷土教育・体験学習の充実 関連項目 (2節-1-②-3)
- ・青少年健全育成活動の支援 関連項目 (2節-4-①)

基本方針	具体的施策	事業	
1. 子どもたちの豊かな心を育む教育の推進	【重点施策】 ①いじめ・暴力行為等の未然防止及び問題への取組	1 いじめ防止推進事業（いじめ防止フォーラム）	
		2 教育相談に関する事業（再掲）	
		3 教育支援センターの設置事業（適応支援教室なのはな）	
		4 スクールカウンセラー配置事業	
		5 スクールアシスタント（支援員）の配置事業	
		6 いじめ・体罰解消サポートセンター事業	
		7 つくばみらい市いじめ問題対策連絡協議会	
	【重点施策】 ②-1 社会を生き抜く力の育成（道徳教育・人権教育）	1 人権教育研修会	
		2 教育相談に関する事業（再掲）	
		3 みんなに薦めたい一冊の本事業（再掲）	
		②-2 子どもの読書活動の促進	1 ブックスタート事業
			2 おはなし会等の読書への楽しみを育む行事
			3 幼稚園・保育所・学校の図書館見学事業
	【重点施策】 ②-3 自然や歴史を学ぶ郷土教育・体験学習の充実	4 みんなに薦めたい一冊の本事業（再掲）	
		5 教育長からの表彰制度事業	
6 読書通帳事業			
2. 子どもの心身の健康の保持増進	①保健・体育の充実	1 青少年健全育成つくばみらい市民会議との連携による体験活動事業（たこあげ大会）（再掲）	
		2 郷土教育・体験学習支援事業	
	②-1 安全でおいしい給食の提供	3 わくわくチャレンジ講座事業（再掲）	
		1 「生きる力」をはぐくむ健康教育推進事業	
	②-2 給食を通じた食育の推進	2 体力アップ推進プラン（再掲）	
		1 新給食センターの整備事業	
		2 安心・安全な給食の提供	
			1 児童生徒の食育推進事業
			2 施設見学・試食会の実施

3. 学校や地域におけるスポーツ活動の充実	①子どもの体力増進とスポーツ活動の充実	1 子どもの体力向上支援事業
		2 ドッジボール大会・なわとび大会
		3 体カアップ推進プラン（再掲）
4. 青少年の健全育成への取組	<b>【重点施策】</b> ①青少年健全育成活動の支援	1 青色防犯パトロール事業（再掲）
		2 「青少年健全育成に協力する店」登録等活動事業
		3 「スマートフォン・携帯電話・ゲーム機の使い方について」を全家庭に配布（再掲）
		4 青少年育成つくばみらい市民会議ふれあい交流事業（再掲）
		5 青少年健全育成つくばみらい市民会議との連携による体験活動事業（たこあげ大会）（再掲）

## 1. 子どもの豊かな心を育む教育の推進

### ① いじめ・暴力行為等の未然防止及び問題への取組 【重点施策】

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	いじめ防止推進事業（いじめ防止フォーラム）	いじめ防止に向けた児童生徒の自主的な取組をより活性化させるとともに、学校、家庭及び地域住民等が連携したいじめ防止の取組の推進を図る。 学校教育課（教育指導室）		
	いじめ防止フォーラムの実施学校数	いじめ防止フォーラムを年1回以上実施している小中学校数の増加を目指す	7校 (小中学校)	全小中学校
2	教育相談に関する事業（再掲）	児童生徒の教育上の諸問題について、学校での定期的な教育相談や適応支援教室への来所や電話による相談を受け、悩みを抱える児童生徒及び保護者に適切に対応できる相談体制の充実を図る。 学校教育課（教育指導室）		
	学校の教育相談の実施校	学校における定期的な教育相談の実施学校数（年2回以上の学校）の増加を目指す	6校 (小中学校)	14校 (小中学校)
	保護者や児童生徒の教育相談件数	教育指導室や適応支援教室への教育相談件数の増加を目指す	64件	110件
3	教育支援センターの設置事業（適応支援教室なのはな）	市内小中学校における不登校児童生徒の学校生活への復帰を在籍校と連携をとりながら、支援体制の充実を図る。 学校教育課（教育指導室）		
	教育支援センターの学校訪問件数	不登校や引きこもりへの家庭訪問や各学校への巡回訪問回数の増加を目指す	30回	60回
4	スクールカウンセラー配置事業	暴力行為、いじめ、不登校等の児童生徒の問題行動等の未然防止、早期発見及び早期解決を図る。 学校教育課（教育指導室）		
	スクールカウンセラーによる相談件数	スクールカウンセラー対応の保護者や児童生徒の教育相談件数及び教職員とのコンサルテーション等の回数の増加を目指す	800件	1,000件
5	スクールアシスタント（支援員）の配置事業	不登校解消モデル事業に伴い、スクールライフサポーターを活用して、不登校児童の解消と未然防止に資する 学校教育課（教育指導室）		
	スクールライフサポーターが児童と関わる回数	スクールライフサポーターが不登校傾向の児童へ個別対応した回数の増加を目指す	93回	120回
6	いじめ・体罰解消サポートセンター事業	「いじめをなくそう！ネット目安箱」を通じて、いじめに関する相談や情報提供における相談体制の確立を図る。 学校教育課（教育指導室）		
	いじめ・体罰解消サポートセンターへの相談件数	いじめ体罰解消サポートセンターへの電話相談や来所相談の回数の増加を目指す	1件	10件

7	つくばみらい市いじめ問題対策連絡協議会	いじめ防止等に関する関係機関との連携強化を図り、実効的ないじめ防止等のための対策を図る。 学校教育課（教育指導室）		
	つくばみらい市いじめ問題対策連絡協議会の実施回数	「つくばみらい市学校警察連絡協議会」を兼ねて実施した「つくばみらい市いじめ問題対策連絡協議会」の実施回数の増加を目指す	2回	3回

②-1 社会を生き抜く力の育成（道徳教育・人権教育） 【重点施策】

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	人権教育研修会	人権尊重の理念の理解と研修会を通じて、児童生徒の心の痛みに気づき、互いの人権が尊重されているかを判断できる確かな人権感覚を身に付ける研修会を実施する。 学校教育課（教育指導室）		
	教員の人権教育に関する研修会への参加者数	教員の人権意識を高めるための夏季の人権研修会以外の研修会への積極的な参加呼びかけにより、人権教育に関する研修会への参加者数の増加を目指す	140名 (H28年)	170名以上
2	教育相談に関する事業 (再掲)	児童生徒の教育上の諸問題について、学校での定期的な教育相談や適応支援教室への来所や電話による相談を受け、悩みを抱える児童生徒及び保護者に適切に対応できる相談体制の充実を図る。 学校教育課（教育指導室）		
	学校の教育相談の実施校	学校における定期的な教育相談の実施学校数（年2回以上の学校）の増加を目指す	6校 (小中学校)	14校 (小中学校)
	保護者や児童生徒の教育相談件数	教育指導室や適応支援教室への教育相談件数の増加を目指す	64件	110件
3	みんなに薦めたい一冊の本事業（再掲）	学校や家庭や地域の協力を得ながら児童生徒の読書意欲を喚起して読書活動の推進に努めるとともに、小学校4年生から中学生まで継続して児童生徒の読書活動を一層活性化することにより、国語力を向上させ心の教育の充実を図る。 学校教育課（教育指導室）		
	県教育長賞受賞率	県教育長賞受賞児童生徒の割合の増加を目指す	小学校 82.0% 中学校 11.0%	小学校 85.0% 中学校 15.0%

## ②-2 子どもの読書活動の促進

No	事業	事業概要		
		目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)
1	ブックスタート事業	3～4 か月児健診時、赤ちゃんと保護者に絵本の読み聞かせ等を行い、赤ちゃんと保護者の絵本を手にするきっかけをつくる。 生涯学習課（図書館）		
	ブックスタート事業	3～4 か月児健診時にブックスタート事業の継続を目指す	100%	100%
2	おはなし会等の読書への楽しみを育む行事	本と触れ合うきっかけづくりとなるよう、対象年齢を決めたおはなし会や科学あそび、映画会等の子ども向けの事業にはじまり、大人の子どもの読書に関する理解を促す講演会等を実施する。 生涯学習課（図書館）		
	おはなし会の事業実施回数	おはなし会の実施回数の増加を目指す	39回	48回
3	幼稚園・保育所・学校の図書館見学事業	幼稚園等の図書館見学を受け入れることで、子どもたちに図書館に存在を伝え、図書館の利用をきっかけとして、子どもと本を結びつける。 生涯学習課（図書館）		
	図書館見学の受入数	図書館見学を受入した回数の増加を目指す	13回	17回
4	みんなに薦めたい一冊の本事業（再掲）	学校や家庭や地域の協力を得ながら児童生徒の読書意欲を喚起して読書活動の推進に努めるとともに、小学校4年生から中学生まで継続して児童生徒の読書活動を一層活性化することにより、国語力を向上させ心の教育の充実を図る。 学校教育課（教育指導室）		
	県教育長賞受賞率	県教育長賞受賞児童生徒の割合の増加を目指す	小学校 82.0% 中学校 11.0%	小学校 85.0% 中学校 15.0%
5	教育長からの表彰制度事業	学校や家庭や地域の協力を得ながら児童の読書意欲を喚起して読書活動の推進に努めるとともに、小学校1年生から4年生まで継続して児童生徒の読書活動の活性化を図る。 学校教育課（教育指導室）		
	市教育長賞受賞率	市教育長賞受賞児童の割合の増加を目指す	86.0%	90.0%
6	読書通帳事業	市内小中学校の児童・生徒を対象に読書の履歴が残る「読書通帳」を配付し、子どもの読書活動の推進を図る。 生涯学習課（図書館）		
	読書通帳事業	子どもの読書活動の推進するため、全ての児童・生徒への読書手帳の配付を目指す	—	100%

②-3 自然や歴史を学ぶ郷土教育・体験学習の充実 【重点施策】

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	青少年健全育成つくば みらい市民会議との連 携による体験活動事業 (たこあげ大会) (再掲)	冬の風物詩であり、伝統的な遊びである凧揚げを伝承し、凧作りやたこ あげ大会をとおして家族、友人の絆を深める。 生涯学習課		
	たこあげ大会参加人 数	たこあげ大会参加者の増加を目指す	30人	40人
2	郷土教育・体験学習支援 事業	間宮林蔵生家及び記念館において、当市出身の偉人で探検・測量家であ る間宮林蔵をPRするため、市内児童の来館者に児童向けの展示解説を 実施する。 生涯学習課		
	児童向け展示解説実 施件数	市内各小学校で来館した際の展示解説の実施 数の増加を目指す	5件	12件
3	わくわくチャレンジ講 座事業 (再掲)	市内小学1年生から中学3年生までを対象とし、異年齢の集団で体験活 動を行い、自主的・協調性・忍耐力を高め、互いに助け合う心・思いや る心を育てる。 生涯学習課		
	わくわくチャレンジ 講座参加者数	小中学生の講座への参加者数の増加を目指す	525人	600人

## 2. 子どもの心身の健康の保持増進

### ① 保健・体育の充実

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	「生きる力」をはぐくむ 健康教育推進事業	生涯を通じ自らの健康を適切に管理，改善していく資質や能力（実践力）を培うため，教員の資質の向上と指導方法の改善・充実を図り，児童生徒の「生きる力」の形成を目指す。 学校教育課（教育指導室）		
	防止教室の開催（喫煙・飲酒，薬物乱用防止等）	各種の防止教室のすべてを年間1回以上開催している学校数の増加を目指す	9校 (小中学校)	全小中学校
2	体力アップ推進プラン (再掲)	学校教育活動における体育・スポーツ活動の充実を図り，児童生徒の運動意欲を高め，競い合う楽しさや達成感を味わわせ，困難に立ち向かう「たくましい心と体」を育成する。 学校教育課（教育指導室）		
	体力テスト総合評価A+Bの前年度比増の学校数	小学校では投力アップ，中学校では課題のある領域の向上を目指して，体力アップを図り，体力テスト総合評価 A+B の割合が前年度よりプラスになる学校の増加を目指す	9校 (小中学校)	全小中学校

### ②-1 安全でおいしい給食の提供

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	新給食センターの整備 事業	平成30年度には，児童生徒数が両センターで賄える食数を超えてしまうことから，安全・安心で安定した給食を提供するために新給食センターを整備する。 学校教育課（給食センター）		
	新給食センター整備 進捗状況	平成30年4月の供用開始を目指す	調査・研究基本計画の策定	供用開始 (平成30年4月)
2	安心・安全な給食の提供	衛生管理を徹底し，食材については放射能検査・産地・加工工場の確認を行う。アレルギー対応希望者に献立材料表と原料配合表を配布する。 学校教育課（給食センター）		
	事故発生件数	食数の増加により発生しやすくなる，食中毒及びアレルギーに関する事故の発生件数0件を堅持する	0件/年	0件/年



②-2 給食を通じた食育の推進

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	児童生徒の食育推進事業	給食だより等の掲示資料の作成、学校訪問や各教科の授業等による児童生徒への食に関する指導や家庭教育学級、学校保健委員会等保護者への食育推進を実施する。 学校教育課（給食センター）		
	栄養教諭・栄養士による食に関する指導の割合	給食時訪問や学級活動、各教科の他に調理実習や部活等における食に関する指導の回数を増やす。	給食訪問 98回 授業等 20回	給食訪問 108回 授業等 22回
2	施設見学・試食会の実施	学校給食に対する理解を深めるため、一般市民対象の試食会を行う。 学校教育課（給食センター）		
	試食会開催数	一般市民に給食の理解を得るために行う一般試食会の増加を目指す	1回／年	3回／年

### 3. 学校や地域におけるスポーツ活動の充実

#### ①子どもの体力増進とスポーツ活動の充実

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	子どもの体力向上支援事業	学校教育活動における体育・スポーツ活動の充実を図り、児童生徒の運動意欲を高め、競い合う楽しさや達成感を味わわせ、困難に立ち向かう「たくましい心と体」を育成する。 学校教育課（教育指導室）		
	「スポーツチャレンジ」への参加校の割合	茨城県主催の「スポーツチャレンジ」に参加（任意）する学校の割合の向上を目指す	9校 (小中学校)	11校 (小中学校)
2	ドッジボール大会・なわとび大会	スポーツ・レクリエーション活動の大会を開催し、身体を動かすスポーツの楽しさや意義、価値を実感できる環境を整える 生涯学習課（スポーツ推進室）		
	ドッチボール大会・なわとび大会の参加者数	ドッチボール大会・なわとび大会の参加者数の増加を目指す	434人	500人
3	体力アップ推進プラン（再掲）	学校教育活動における体育・スポーツ活動の充実を図り、児童生徒の運動意欲を高め、競い合う楽しさや達成感を味わわせ、困難に立ち向かう「たくましい心と体」を育成する。 学校教育課（教育指導室）		
	体力テスト総合評価A+Bの前年度比増の学校数	小学校では投力アップ，中学校では課題のある領域の向上を目指して，体力アップを図り，体力テスト総合評価 A+B の割合が前年度よりプラスになる学校の増加を目指す	9校 (小中学校)	全小中学校

#### 4. 青少年の健全育成への取組

##### ①青少年健全育成活動の支援 【重点施策】

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	青色防犯パトロール事業（再掲）	犯罪のおきにくい社会づくりを目指し，青色回転灯装備車で青少年相談員とともに巡回し，地域防犯活動を実施する。 生涯学習課		
	青色防犯パトロールの実施回数	青色防犯パトロール実施回数の増加を目指す	19回／年	22回／年
2	「青少年健全育成に協力する店」登録等活動事業	青少年に関わりの深い店舗に対する青少年関係条例・法令の遵守等の働きかけを推進することを目的に店舗訪問を実施する。 生涯学習課		
	青少年健全育成に協力する店への訪問件数	青少年健全育成に協力する店への訪問件数の増加を目指す	5件／年	10件／年
3	「スマートフォン・携帯電話・ゲーム機の使い方について」を全家庭に配布（再掲）	「家庭向け資料」を印刷・配付し，家庭における問題意識の高揚を図る。また，「話し合いシート」を活用し，生徒と保護者が，使用の目的や条件，マナー等について「家庭での話し合い」を行う。 学校教育課（教育指導室）		
	スマートフォン等などの使い方の約束ごとの話し合いシートの活用状況の割合	「スマートフォン・携帯電話・ゲーム機の使い方について」の話し合いシートの活用の向上を目指す	65.0%	90.0%
4	青少年育成つくばみらい市民会議ふれあい交流事業（再掲）	体験学習や県内外の社会科見学を通して，市内の児童が行動を共にすることにより，連帯感，協調性を養うとともに相互の交流を図る。 生涯学習課		
	ふれあい交流事業参加者数	ふれあい交流事業参加者数の増加を目指す	30人	40人
5	青少年健全育成つくばみらい市民会議との連携による体験活動事業（たこあげ大会）（再掲）	冬の風物詩であり，伝統的な遊びである凧揚げを伝承し，凧作りやたこあげ大会をとおして家族，友人の絆を深める。 生涯学習課		
	たこあげ大会参加人数	たこあげ大会参加者の増加を目指す	30人	40人

## 基本目標

第3節“みらい”を築く誰もが安心して学べる教育環境の充実

## 重点施策

### ○平等な教育環境プロジェクト！

- ・学校施設・設備の充実 関連項目 (3節-1-①)
- ・快適な教育環境づくり 関連項目 (3節-1-②)
- ・義務教育施設適正配置基本計画の推進及び通学区域の検討 関連項目 (3節-3-①)
- ・家庭の教育力の向上 関連項目 (3節-4-①-1)

### ○安心・安全を高めるプロジェクト！

- ・登下校時の見守り対策及び交通安全対策の充実・強化 関連項目 (3節-2-①)
- ・防災・防犯対策の充実・強化 関連項目 (3節-2-②)
- ・放課後の居場所づくり 関連項目 (3節-4-①-3)

基本方針	具体的施策	事業
1. 安心・安全な学校施設づくり	【重点施策】 ①学校施設・設備の充実	1 耐震化事業
	【重点施策】 ②快適な教育環境づくり	1 大規模改修事業 2 トイレ改修事業
2. 子どもの安心・安全の確保	【重点施策】 ①登下校時の見守り対策及び交通安全対策の充実・強化	1 スクールガード事業
		2 立哨活動推進事業
		3 つくばみらい市通学路交通安全プログラム
		4 歩道のない道路は道路でない事業
		5 交通安全啓発事業
		6 交通安全対策用品配布事業
		7 青色防犯パトロール事業（再掲）
【重点施策】 ②防災・防犯対策の充実・強化	1 実践的安全教育総合支援事業	
	2 防犯灯LED化事業	
	3 防災手帳の作成・活用事業	
3. 教育環境の公平性の確保	【重点施策】 ①義務教育施設適正配置基本計画の推進及び通学区域の検討	1 つくばみらい市義務教育施設適正配置基本計画
		2 遠距離通学費補助金制度
4. 家庭と地域の教育力の向上	【重点施策】 ①-1 家庭の教育力の向上	1 家庭教育学級事業
		2 子ども・子育て支援新制度（地域子育て支援拠点事業（再掲））
	【重点施策】 ①-2地域の教育力の向上（コミュニティの協働による家庭教育支援）	1 放課後子ども教室（再掲）
		2 放課後子ども総合プラン
		3 放課後児童クラブ
【重点施策】 ①-3放課後の居場所づくり		

5. 地域とともにある学校づくりの推進	①-1 地域との交流や人材の有効活用	1 放課後子ども教室（再掲）
	①-2 学校・地域・家庭の連携	1 学校便りの配布, 学校ブログの発信, 緊急情報メールの配信
		2 110番の家との連携
	②コミュニティスクールの検討	1 学校評議委員会
		2 学校関係者評価委員会
		3 学校保健委員会

## 1. 安心・安全な学校施設づくり

### ① 学校施設・設備の充実 【重点施策】

No	事業	事業概要		
		目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)
1	耐震化事業	学校施設の耐震化及び防災機能の強化（非構造部材の落下防止対策）等を計画的に実施する。 学校教育課（学校教育課）		
	学校施設の耐震化率	学校施設の耐震化率（非構造部材含む）の向上を目指す	47.6%	76.2%

### ② 快適な教育環境づくり 【重点施策】

No	事業	事業概要		
		目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)
1	大規模改修事業	学校施設の老朽化対策や長寿命化改修を実施する。 学校教育課（学校教育課）		
	学校施設の改修率	学校施設の老朽化対策実施施設の割合の増加を目指す	24.2%	30.3%
2	トイレ改修事業	市内学校校舎におけるトイレの老化対策や長寿命化改修を実施する。 学校教育課（学校教育課）		
	校舎トイレの改修率	校舎トイレの老朽化対策実施施設の割合の増加を目指す	41.4%	65.5%

## 2. 子どもの安心・安全の確保

### ① 登下校時の見守り対策及び交通安全対策の充実・強化 【重点施策】

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	スクールガード事業	日頃から個人で散歩等をされている地域の方々等にボランティア登録を呼びかけ、児童の登下校時にあわせて、校区内を散歩等していただき、交通事故や犯罪から子どもたちを守る。学校と地域が連携し、子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進する 学校教育課・社会福祉協議会		
	各小学校の防犯散歩ボランティア・スクールガードの設置団体数	市内の全小学校区において防犯散歩ボランティア・スクールガードの設置団体数の増加を目指す	1 団体	6 団体
2	立哨活動推進事業	児童生徒の交通安全対策のため、「常総地区交通安全協会伊奈支部・谷和原支部」，「常総地区交通安全母の会連合会伊奈支部・谷和原支部」は、定期的に学校周辺で立哨活動を実施している。 安心安全課		
	立哨活動の実施※	児童生徒の交通安全を見守る立哨活動の継続を目指す	—	—
3	つくばみらい市通学路交通安全プログラム	通学路の安全確保に向けた取組を行うため、関係機関の連携体制を構築し、「つくばみらい市通学路交通安全プログラム」を策定した。本プログラムに基づき、関係機関が連携して、児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図っていく。 学校教育課		
	交通安全教室の実施	各学校での交通安全教室の継続を目指す	100% (H28 年)	100%
4	歩道のない道路は道路でない事業	路面表示やカラー舗装等の安全対策を実施 建設課		
	歩道整備基本計画の短期事業	整備箇所数の増加を目指す	37 箇所 (H28 年)	71 箇所
5	交通安全啓発事業	小学 1 年生と中学 1 年生に交通安全チラシ等の配布を通じて、児童生徒の交通安全意識を高める。 安心安全課		
	リーフレット、チラシの配布率	交通安全に関するリーフレット、チラシの配布の継続を目指す	100% (H28 年)	100%
6	交通安全対策用品配布事業	小学 2 年生を対象に反射材、中学 1 年生を対象にヘルメットと反射材の配布を通じて、児童生徒の交通安全対策を図る。 安心安全課		
	交通安全対策用品の配布率	交通安全対策としての反射材とヘルメットの配布の継続を目指す	100% (H28 年)	100%

7	青色防犯パトロール事業（再掲）	犯罪のおきにくい社会づくりを目指し、青色回転灯装備車で青少年相談員とともに巡回し、地域防犯活動を実施する。 学校教育課（教育指導室）		
	青色防犯パトロールの実施回数	青色防犯パトロール実施回数の増加を目指す	19回／年	22回／年

※立哨活動については、ボランティアによる活動のため目標指標を定めていないが、今後も児童生徒の交通安全対策として継続して実施する。

## ②防災・防犯対策の充実・強化 【重点施策】

No	事業	事業概要			
		目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	実践的安全教育総合支援事業		学校の安全管理体制や地域住民・保護者・関係機関との連携体制を構築するなど、実践的な取組みを支援し、その成果を周知・普及することを目的とする。 学校教育課（教育指導室）		
		防災教育・防犯教育・交通安全教室の実施率	防災・防犯・交通安全教育を中心とした講演会や集会等の開催割合増加を目指す	90.0%	100%
2	防犯灯LED化事業		防犯灯のうち、蛍光灯型防犯灯から明るいLED防犯灯への転換を促進し、児童生徒の防犯及び交通安全対策の充実を図る 安心安全課		
		防犯灯LED化率	防犯灯のうち、蛍光灯型防犯灯からLED防犯灯への転換を促進し、指定通学路の明るさの確保を目指す	11.5%	80.0%
3	防災手帳の作成・活用事業		防災・減災対策から、発災後の迅速な復旧・復興につながる情報をまとめた手帳の活用により、ひとりひとりの「生きる力」を育む防災・減災の知恵や自然災害の脅威を理解し、事前の備えを行うための対策を図る。 学校教育課（教育指導室）		
		防災手帳の作成及び活用学校数	地域の実態に応じた防災手帳の作成や活用を行っている学校数の増加を目指す	1校 (小学校)	全小学校

### 3. 教育環境の公平性の確保

#### ① 義務教育施設適正配置基本計画の推進及び通学区域の検討 【重点施策】

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	つくばみらい市義務教育施設適正配置基本計画	つくばみらい市義務教育施設適正配置基本計画に基づき、住民説明会、統合検討委員会を開催し、平成 35 年度を目標に 6 小 4 中へ再編を進めていく。 学校教育課		
	再編学校数	適正配置の基本的な考え方に基づき、平成 35 年度を目標に市内公立小学校の再編（6 小 4 中）を目指す	11 校 (小学校)	合意を得られた学校より再編
2	遠距離通学費補助金制度	遠距離から通学する児童でバス等の公共交通を利用して通学する子どもの保護者に対し経費の一部を補助する。 学校教育課		
	遠距離児童に対する補助件数	遠距離児童に対する補助を継続して実施	16 件	—



#### 4. 家庭と地域の教育力の向上

##### ①-1 家庭の教育力の向上 【重点施策】

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	家庭教育学級事業	核家族化及び地域における地縁的なつながりの希薄化等により、家庭の教育力が低下していることから、子育てについて不安や悩みを持つ親同士が交流し合い、子どもの発達段階に応じた家庭教育に関する学習機会を提供していくことで、家庭の教育力の向上を図る。 生涯学習課		
	家庭教育学級学習会等への参加延べ人数	家庭教育学級学習会等への参加した学級生の延べ人数を指標とする。	2,647人 (幼小中)	2,900人 (幼小中)

##### ①-2 地域の教育力の向上（コミュニティの協働による家庭教育支援）

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	子ども・子育て支援新制度（地域子育て支援拠点事業）（再掲）	乳幼児やその保護者が相互の交流を行い、ふれあい遊びや友達になったりする場を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言などを行う。 こども福祉課・学校教育課		
	地域子育て支援拠点事業実施施設数	地域子育て支援拠点事業を実施している施設数の増加を目指す	6か所	8か所

①-3 放課後の居場所づくり 【重点施策】

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	放課後子ども教室（再掲）	放課後に子どもたちが安心して活動できる場の確保を図り、子どもたちに様々な体験や交流の機会を提供し、社会性・自主性等を養う事業である 生涯学習課		
	放課後子ども教室の参加児童数	放課後子ども教室に参加した延べ児童数の増加を目指す	10,902人	12,800人
2	放課後子ども総合プラン	すべての児童を対象に、放課後や土曜日に小学校の特別教室等を活用して、体験活動・交流活動等を実施する「放課後子ども教室推進事業」と、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童を対象に生活の場を提供する「放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）」を一体的または連携して実施する。運営はサービスの充実を図り効果的に進めるためにも民間に委託する 生涯学習課		
	放課後子ども総合プラン実施校数	民間委託による一体型での運営実施により実施校の増加を目指す	11校 (小学校)	全小学校
3	放課後児童クラブ	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後等に小学校の余裕教室等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図るものである。 生涯学習課		
	放課後児童クラブ数（生涯学習課）	放課後児童クラブ設置数の増加を目指す	17クラブ	21クラブ

## 5. 地域とともにある学校づくりの推進

### ①-1 地域との交流や人材の有効活用

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	放課後子ども教室（再掲）	放課後に子どもたちが安心して活動できる場の確保を図り、子どもたちに様々な体験や交流の機会を提供し、社会性・自主性等を養う事業である 生涯学習課		
	放課後子ども教室の参加児童数	放課後子ども教室に参加した延べ児童数の増加を目指す	10,902 人	12,800 人

### ①-2 学校・地域・家庭の連携

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	学校便りの配布，学校ブログの発信，緊急情報メールの配信	学校で取り組んでいることや課題等の情報の発信を積極的に行う。情報を公開することで，地域の方や保護者の方から評価していただき，学校経営を見直す際の指標とする 学校教育課（教育指導室）		
	学校ブログ更新，学校便りの発行	学校ブログの更新頻度，学校便りの発行回数の増加を目指す	各 1 回／月	各 2 回／月
2	110 番の家との連携	子どもたちを不審者等から守り，緊急に避難できる場所を P T A 会員を中心に提供していただき，犯罪を未然に防ぐ目的とする。 学校教育課（教育指導室）		
	110 番の家の加入件数	「110 番の家」として継続及び新規で加入している世帯数の増加を目指す	1,048 件	1,300 件

② コミュニティスクールの検討

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	学校評議委員会	学校が、保護者や地域住民等の信頼に応え、家庭や地域と連携協力して一体となって子供たちの健やかな成長を図っていくための会である 学校教育課（教育指導室）		
	学校評議委員会の年間開催率	年間3回以上の学校評議委員会を開催している学校の割合の増加を目指す	26.6%	50.0%
2	学校関係者評価委員会	学校に点数を付けたり、監視するものではなく、保護者や地域住民が学校と一緒に子供のことを考え、それぞれの立場や視点からより良い学校をつくるためのものである 学校教育課（教育指導室）		
	学校関係者評価委員会の開催率	年間2回以上の学校関係者評価委員会を開催している学校の割合の増加を目指す	7.0%	30.0%
3	学校保健委員会	学校保健について、学校長の諮問機関として、学校保健の問題を検討し、問題点を解決し実践活動を推進していくための研究協議と連絡調整及び推進を図ることを目的とする。 学校教育課（教育指導室）		
	学校保健委員会の実施回数	学校関係者を含めた学校保健委員会の年間実施回数の増加を目指す	33回	45回

## 基本目標

## 第4節 “みらい” に続く生涯学習・生涯スポーツの充実

## 重点施策

### ○市民が自らを磨き輝く生涯学習プロジェクト！

- ・生涯学習活動の促進 関連項目（4節-1-②）
- ・市民のニーズや市民に役に立つ質の高い講座・教室の充実 関連項目（4節-2-①）
- ・地域人材を活用した生涯学習の推進 関連項目（4節-2-②）
- ・生涯学習施設の利便性の向上 関連項目（4節-3-①）

### ○いきいきスポーツのまちプロジェクト！

- ・市民のスポーツ活動・競技スポーツの支援 関連項目（4節-4-①-1）
- ・市民のスポーツ活動の促進と指導者の育成 関連項目（4節-4-①-2）
- ・市民の体力づくり・健康づくりの促進 関連項目（4節-4-②）

基本方針	具体的施策	事業
1. 生涯学習環境の構築	①生涯学習への市民参加の促進	1 わくわくチャレンジ講座事業（再掲）
		2 親子対象講座事業（再掲）
		3 託児ボランティア養成講座
		4 公民館講座事業（講座や教室の充実）（再掲）
		5 よつわ大学（公民館講座）（再掲）
	【重点施策】	1 公民館講座事業（生涯学習活動の活性化）
2. 質の高い学習機会の充実	②生涯学習活動の促進	1 わくわくチャレンジ講座事業（再掲）
	【重点施策】 ①市民のニーズや市民に役に立つ質の高い講座・教室の充実	2 親子対象講座事業（再掲）
		3 公民館講座事業（講座や教室の充実）（再掲）
		1 生涯学習指導者（人材バンク）情報提供事業
	【重点施策】 ②地域人材を活用した生涯学習の推進	1 資料の収集・整備・保存事業
		2 インターネットを活用したサービス提供事業（再掲）
		3 図書館まつり事業
	③-1 図書館事業の充実	1 公民館講座事業（講座や教室の充実）（再掲）
		2 よつわ大学（公民館講座）（再掲）
	3. 生涯学習施設の整備・充実	【重点施策】 ①生涯学習施設の利便性の向上
2 インターネットを活用したサービス提供事業（再掲）		
3 指定管理制度導入事業（再掲）		
②施設の整備と設備の適切な維持管理		1 指定管理制度導入事業（再掲）

4. 生涯スポーツの推進	【重点施策】 ①-1 市民のスポーツ活動・競技スポーツの支援	1 総合型地域スポーツクラブ設立事業（再掲）
	【重点施策】 ①-2 市民のスポーツ活動の促進と指導者の育成	1 スポーツフェスティバルの開催事業
	【重点施策】 ②市民の体力づくり・健康づくりの促進	1 総合型地域スポーツクラブ設立事業 2 総合運動公園多目的広場の整備事業
5. 地域の文化や伝統の次世代への継承	①-1 地域の歴史・文化資源の活用	1 間宮林蔵生家及び記念館展示解説事業
		2 結城三百石記念館展示解説事業
	①-2 文化財の保存と活用	1 文化財巡視や文化財防火デーに伴う巡視事業
		2 埋蔵文化財試掘調査事業
		3 文化財PR事業
	①-3 文化・芸術の振興と地域における文化活動の支援	1 文化祭開催事業
2 「つくばみらい市音頭」普及事業		
6. 男女共同参画社会の推進	①男女共同参画の視点に立った教育の推進	1 男女共同参画推進事業

## 1. 生涯学習環境の構築

### ① 生涯学習への市民参加の促進

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	わくわくチャレンジ講座事業（再掲）	市内小学1年生から中学3年生までを対象とし、異年齢の集団で体験活動を行い、自主的・協調性・忍耐力を高め、互いに助け合う心・思いやる心を育てる。 生涯学習課		
	わくわくチャレンジ講座参加者数	小中学生の講座への参加者数の増加を目指す	525人	600人
2	親子対象講座事業（再掲）	未就園児を持つ保育者とその子を対象に、外に出て人と触れ合う場や友達作りの機会を提供し、子育てが楽しく感じられるよう支援する。 生涯学習課		
	親子対象講座参加者数	親子対象講座の年間参加者数の増加を目指す	80組	100組
3	託児ボランティア養成講座事業	託児ボランティアの人員を増やし、小さいお子さんを抱えている保護者を対し、託児を活用することにより参加しやすい環境整備を図る。 生涯学習課		
	託児ボランティア養成講座受講者数	託児ボランティア養成講座の年間受講者数の増加を目指す	16人	20人
4	公民館講座事業（講座や教室の充実）（再掲）	市民の教養の向上等 生活・文化に関する多様な学習機会を提供するため、学習需要に基づく地域特性を活かした各種講座を開催する 生涯学習課（公民館）		
	公民館講座参加者数	公民館企画各種講座への年間参加者数の増加を目指す	2,311人	2,500人
5	よつわ大学※（公民館講座）	市内在住60歳以上の方を対象に、「希望」「親睦」「健康」「協力」の4つのスローガン（4つの輪・和）を基本とした生涯学習を推進し、講話・各種学習活動・移動学習などを実施する。 生涯学習課		
	よつわ大学参加者数	よつわ大学への年間参加者数の増加を目指す	142人	165人

※よつわ大学：市内在住者60歳以上を対象に、様々な活動を通して交流を深める場。「よつわ」は希望・協力・健康・親睦の4つの輪に由来する名称。

②生涯学習活動の促進 【重点施策】

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	公民館講座事業（生涯学習活動の活性化）	公民館講座を受講した市民が、学習意欲を継続しつつ、自主的にサークルを設立し活動等ができるよう支援を行い、講座からサークルへの発展を促す。についてはサークル間の交流など生涯学習活動の活性化を図る。 生涯学習課（公民館）		
	サークル設立団体数	公民館講座からサークル設立へと発展した団体数の増加を目指す	6 団体	10 団体



## 2. 質の高い学習機会の充実

### ① 市民のニーズや市民に役に立つ質の高い講座・教室の充実 【重点施策】

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	わくわくチャレンジ講座事業（再掲）	市内小学1年生から中学3年生までを対象とし、異年齢の集団で体験活動を行い、自主的・協調性・忍耐力を高め、互いに助け合う心・思いやる心を育てる。 生涯学習課		
	わくわくチャレンジ講座参加者数	小中学生の講座への参加者数の増加を目指す	525人	600人
2	親子対象講座事業（再掲）	未就園児を持つ保育者とその子を対象に、外に出て人と触れ合う場や友達作りの機会を提供し、子育てが楽しく感じられるよう支援する。 生涯学習課		
	親子対象講座参加者数	親子対象講座の年間参加者数の増加を目指す	80組	100組
3	公民館講座事業（講座や教室の充実）（再掲）	市民の教養の向上等、生活・文化に関する多様な学習機会を提供するため、学習需要に基づく地域特性を活かした各種講座を開催する。 生涯学習課（公民館）		
	公民館講座参加者数	公民館企画各種講座への年間参加者数の増加を目指す	2,311人	2,500人

### ② 地域人材を活用した生涯学習の推進 【重点施策】

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
②-1	生涯学習指導者（人材バンク）情報提供事業	多様化する生涯学習に対応するため、知識並びに技能を有する市民に人材バンクに登録していただき学習活動への支援体制の構築を図る。 生涯学習課		
	指導者登録数	人材バンク登録者数の増加を目指す	96人	120人

### ③-1 図書館事業の充実

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	資料の収集・整備・保存事業	利用者の多様なニーズに対応した資料の充実を図るとともに、蔵書数を確保するため、将来的に施設の整備も視野に入れた、計画的な蔵書整備を行う。また、地域資料のデジタル化等、風水害等に対する危機管理も考慮した資料の整備・保存も行う。 生涯学習課（図書館）		
	公立図書館における一人あたりの貸出冊数	1人あたりの貸出冊数の増加を目指す 公立図書館の貸出冊数/人口 ・貸出冊数：280,596冊（H27年度） ・人口：49,643人（H27年度末）	5.7(冊/人)	6.6(冊/人)
2	インターネットを活用したサービス提供事業（再掲）	商用データベースの提供や図書館ホームページを活用した、図書館資料の予約サービス・希望する新着資料が入ったときにメールでお知らせをするサービス等、インターネットを活用したサービスを提供する。 生涯学習課（図書館）		
	インターネット予約申込数	インターネットを通じて、利用者から申込があった図書館資料の予約件数の増加を目指す	5,859件	6,150件
3	図書館まつり事業	日頃、図書館に足を運ばない方を含め、図書館により親しみをもつていただく機会の提供として、年1回、読書にまつわる各種イベント（読書感想画展、講演会等）を行う。 生涯学習課（図書館）		
	図書館まつりの来館者数	図書館まつりのイベント参加者を含めた来館者数の増加を目指す	907人 (H28)	1,150人

### ③-2 公民館事業の充実

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	公民館講座事業（講座や教室の充実）（再掲）	市民の教養の向上等、生活・文化に関する多様な学習機会を提供するため、学習需要に基づく地域特性を活かした各種講座を開催する。 生涯学習課（公民館）		
	公民館講座参加者数	公民館企画各種講座への年間参加者数の増加を目指す	2,311人	2,500人
2	よつわ大学※（公民館講座）（再掲）	市内在住60歳以上の方を対象に、「希望」「親睦」「健康」「協力」の4つのスローガン（4つの輪・和）を基本とした生涯学習を推進し、講話・各種学習活動・移動学習などを実施する。 生涯学習課		
	よつわ大学参加者数	よつわ大学への年間参加者数の増加を目指す	142人	165人

※よつわ大学：市内在住者60歳以上を対象に、様々な活動を通して交流を深める場。「よつわ」は希望・協力・健康・親睦の4つの輪に由来する名称。

### 3. 生涯学習施設の整備・充実

#### ① 生涯学習施設の利便性の向上 【重点施策】

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	コミュニティバス・デマ ンド乗合タクシー運行 事業	市民の日常生活の移動手段を確保するため、コミュニティバス及びデマ ンド乗合タクシーを運行する。また、市民ニーズにあった利便性の高い 運行を行うため、今後の地域公共交通について見直しの検討を行う。 みらいまちづくり課		
	コミュニティバス の利用者数	利用者の増減管理により、コミュニティバス、 デマンド乗合タクシー利用者の増加を目指す	28,464 人	29,800 人
	デマンド乗合タク シーの利用者数		5,916 人	9,000 人
2	インターネットを活用 したサービス提供事業 (再掲)	商用データベースの提供や図書館ホームページを活用した、図書館資料 の予約サービス・希望する新着資料が入ったときにメールでお知らせを するサービス等、インターネットを活用したサービスを提供する。 生涯学習課（図書館）		
	インターネット予約 申込数	インターネットを通じて、利用者から申込が あった図書館資料の予約件数の増加を目指す	5,859 件	6,150 件
3	指定管理制度導入事業 (再掲)	民間のノウハウを活かした住民ニーズに合った各種事業を展開しなが ら、生涯学習施設の効果的かつ効率的な運営を実施し、利用者の利便性 を図るために施設の指定管理制度の導入を推進する 生涯学習課		
	指定管理制度導入に よる利用者の満足度	指定管理制度の導入による利用者の満足度の 向上を目指す	82.0%	90.0%

※コミュニティバス及びデマンド乗合タクシーの利用者数は、各施設への乗降利用者の把握は難しいため、市全体での利  
用者数増減を管理し、市民ニーズにあった運行を図る。

#### ② 施設の整備と設備の適切な維持管理

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	将来値 (H33)
1	指定管理制度導入事業 (再掲)	民間のノウハウを活かして利用者の増加を図り、施設の効果的かつ効率 的な運営を実施するために生涯学習施設の指定管理制度の導入を推進 する		
	指定管理制度導入 施設数	指定管理制度の導入施設数の増加を目指す	1 施設	5 施設

#### 4. 生涯スポーツの推進

##### ①-1 市民のスポーツ活動・競技スポーツの支援 【重点施策】

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
①-1-	総合型地域スポーツクラブ設立事業（再掲）	「生涯スポーツ社会」を目指し、「誰でも」「いつでも」「いつまでも」スポーツに親しむことができる場として、総合型地域スポーツクラブを設立 生涯学習課(スポーツ推進室)		
	総合地域スポーツクラブ「スポーツクラブみらい」	「スポーツクラブみらい」によりスポーツに親しむことができる場を今後も提供する	設置済 (H24.9)	—

##### ①-2 市民のスポーツ活動の促進と指導者の育成 【重点施策】

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	スポーツフェスティバルの開催事業	体育協会を中心とし、市民に市内のスポーツ団体・サークルの活動をPRし、スポーツへの興味・関心を高めていく 生涯学習課(スポーツ推進室)		
	スポーツフェスティバル来場者数	スポーツへの興味・関心を高めるスポーツフェスティバルの開催を目指す	未開催	2,500人

##### ②市民の体力づくり・健康づくりの促進 【重点施策】

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	総合型地域スポーツクラブ設立事業（再掲）	「生涯スポーツ社会」を目指し、「誰でも」「いつでも」「いつまでも」スポーツに親しむことができる場として、総合型地域スポーツクラブを設立 生涯学習課(スポーツ推進室)		
	総合地域スポーツクラブ「スポーツクラブみらい」	「スポーツクラブみらい」によりスポーツに親しむことができる場を今後も提供する	設置済 (H24.9)	—
2	総合運動公園多目的広場の整備事業	市民のスポーツニーズに対応した、野球やサッカー、ターゲットゴルフ、グラウンドゴルフなど多目的な大会やイベント等の開催ができるスポーツ施設の整備 生涯学習課（スポーツ推進室）		
	総合運動公園多目的広場の整備の進捗状況	多目的広場の整備のため、用地測量等を進め、平成33年の完了を目指す	10.0%	100%

## 5. 地域の文化や伝統の次世代への継承

### ①- 1 地域の歴史・文化資源の活用

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	間宮林蔵生家及び記念館展示解説事業	当市出身の偉人で探検・測量家である間宮林蔵をPRするため来館者に対して生家及び記念館の展示解説を実施する。 生涯学習課		
	展示解説実施件数	市内外の一般者向けの展示解説の実施件数の増加を目指す	10件	12件
2	結城三百石記念館展示解説事業	結城氏が所蔵していた歴史史料や市内の民家から提供いただいた民具等の展示・公開をし、その理解を深めてもらうために来館者に対して記念館の展示解説を実施する 生涯学習課		
	展示解説実施件数	市内外の児童および一般者向けの展示解説の実施件数の増加を目指す	3件	10件

### ①- 2 文化財の保存と活用

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	文化財巡視や文化財防火デーに伴う巡視事業	埋蔵文化財や指定文化財の巡視を実施し、火災やその他の被害を防ぎ、各文化財の保護に努める。 生涯学習課		
	文化財巡視や文化財防火デーに伴う巡視回数	埋蔵文化財や指定文化財を保護するため、火災やその他の被害を防ぐ巡視回数の増加を目指す	2回	3回
2	埋蔵文化財試掘調査事業	埋蔵文化財の包蔵地等については、造成や建築に伴う場合には、必要に応じてその状況を把握するために試掘調査を実施し、埋蔵文化財の保存保護に努める 生涯学習課		
	埋蔵文化財試掘調査実施回数	埋蔵文化財の包蔵地等について、その保存保護をするために試掘調査の実施回数の増加を目指す	9件	15件
3	文化財PR事業	文化財マップ(ダイジェスト版)を作成し、市内外に各種文化財を広くPRする 生涯学習課		
	文化財マップ(ダイジェスト版)作成部数	各種文化財をPRするために文化財マップを作成し、活用する。	—	1,000部

①-3 文化・芸術の振興と地域における文化活動の支援

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	文化祭開催事業	市文化祭を開催することで、市民の文化・芸術活動の発表・交流の場を設け、文化・芸術の振興に努める。 生涯学習課		
	文化祭の発表者・展示者数	文化祭に参加する発表者・展示者の増加を目指す	809人 (H28)	900人
2	「つくばみらい市音頭」普及事業	CD、DVD配布や踊り講習などを通して、広く市民の方に歌って踊っていただけるよう普及活動を行う。 生涯学習課		
	踊りの講習会の実施回数	踊りの講習会の年間実施回数の増加を目指す	—	3回

6. 男女参画共同社会の推進

①男女共同参画の視点に立った教育の推進

No	事業	事業概要		
	目標指標	指標の考え方	現況値 (H27)	目標値 (H33)
1	男女共同参画推進事業	男女がお互いに人権を尊重し、共に責任を分かち合い、性別にかかわらず、生き生きとした生活を送れるように、市全体で男女共同参画を進めていく。 市民サポート課		
	中学生出前講座	人生の目標を立てる時期を迎える中学生（2年生）を対象に、男女共同参画社会のあり方や取り組みを考える機会を継続的に実施する	実施対象 学生生徒数 (362人)	—
	標語募集	市内在住者、通学・通勤者から、「男女共同参画社会」について、親しみやすく取り組むイメージが持てる作品の募集点数の増加を目指す	924点	1,000点